



紀の川市記者発表資料

平成28年2月17日

生涯学習課長 金岡 哲弘

粉河に春招く風物詩「紀の川流し雛」

粉河に春を呼ぶ「紀の川流し雛」が、今年も例年通り開催されます。

3月3日（木）午後1時30分、粉河寺境内に特設された祭壇に、子どもや市民が各々願いを込めた紙雛を奉納し、粉河寺官長様により、子どもの健やかな成長と、市民の安全と幸せを願う祈願祭が行なわれます。

午後2時、粉河寺を出発した大行列は、「お姫様」に扮した女性を先頭にとんまか通りを、旧粉河支所前まで華やかに練り歩きます。

午後3時、中津川原に到着した紙雛は、小学生や保育園児の手によって、やさしく中津川に流され紀の川にいたります。

暖かい日差しの中津川水面に色とりどりの紙雛が映え、粉河に一足早い春が訪れます。

紀の川市民の安全・安心な暮らしと、特に近年の大災害に見舞われた地域の日でも早い復興を、祈願いたしますので、多くの皆様にご参加頂きたく、報道機関の皆様にご協力をお願いいたします。

尚、近年京阪神や近辺の見物人や写真愛好家が多くお越しいただいております、NPO法人「紀州粉河街づくり塾」主催の写真コンテストも行なわれます。

また、今年も「粉河とんまか雛通り実行委員会」がこの事業に協賛し、町なかにお雛様を飾り、流し雛大行列を盛り上げます。

1	名 称	紀の川流し雛		
2	日 時	3月3日（木）		
		午後1時30分	祈願祭	粉河寺
		午後2時	流し雛大行列	
			粉河寺～とんまか通り～旧粉河支所前	
		午後3時	雛流し	中津川原
3	主 催	紀の川市文化協会粉河支部		
	協 賛	紀の川市教育委員会		
		紀の川市商工会		
		観光特産センターこかわ管理運営組合		
		紀の川市老人クラブ連合会粉河支部		
		粉河とんまか雛通り実行委員会		

【問合せ】

紀の川市 粉河ふるさとセンター 担当：貴志・小谷 TEL0736・73・3312

平成27年度「紀の川流し雛」実施要項

1、 目 的

粉河寺の伝統行事「お雛様」祈願祭と、深田地区の風市神社に伝わる、紙を人型に切り、これに願いを書き、毎年大晦日に大祓いの神事として紀ノ川に流し、その身のけがれや、不幸を洗い流す風習が古来より有りましたが、この仏教行事と神事とを合体させ、新しい「紀の川流し雛」を「粉河文化史友会」が昭和57年に復活させました。

先人の伝統を守るたゆまぬ努力と子供の健全な成長を願う気持ちがひとつになり、毎年、粉河に一足早い春を呼ぶ行事として定着しています。

子供たちには郷土の伝統行事に参加させることにより郷土愛を育て、また多くの市民がわが町を「心のふるさと」と思える環境づくりを目的として実施いたします。

2、 主 催

紀の川市文化協会粉河支部

3、 協 賛

紀の川市教育委員会
紀の川市粉河文化史友会
紀の川市老人クラブ連合会粉河支部
紀の川市商工会
観光特産センターこかわ管理組合
粉河とんまか雛通り実行委員会

4、 日 時

平成28年 3月 3日(木) 祈願祭 13時30分～

5、 場 所

粉河寺、 本町通り、 旧粉河支所前

6、 参 加 者

文化協会会員、粉河地区老人会、紀の川市商工会粉河地区、
粉河とんまか雛通り実行委員会、粉河地区小学校、粉河保育園、
白水園、高揚園 粉河地区公民館、粉河地区ボランティア、各地区写真クラブ、
同好会、一般市民等

7、 そ の 他

毎年この行事の主人公として、「お姫様」を決め、行列の先導役と、流し雛の中心となってもらっています。

8、 行 事 内 容

祈願祭	午後1時30分から	粉河寺本堂前
大行列	午後2時00分から	粉河本町筋を南下旧粉河支所前まで
流し雛	午後3時00分から	旧粉河支所前 中津川にて

